

はじめに

「天災は忘れたころにやってくる」という言葉があります。しかし、忘れていなくても、いつ、どこで、どれくらいの規模の災害が襲ってくるかは、残念ながら現代の科学技術をもってしても把握し切れません。甲斐市では、安全で快適に暮らせるまちづくりを進めるとともに、地域防災計画を策定して、様々な災害対策を講じています。しかし、安全な地域づくりは、一人ひとりが、「自らの身は、自ら守る」という意識のもとに、災害への備えを万全にし、いざというときに、適切な対応がとれるようにしておくことが重要です。また、大きな災害に対しては、地域の連携を密にし、助け合い、組織的に取り組むことが求められます。

この「市民防災マニュアル」は、災害への日頃の備えや防災対策、発生時の対応などについてまとめたものです。身近に置いて、家庭における防災の一助にいただければ幸いです。

もくじ contents

災害の記録	1
非常持出品の準備	2
地震	4
火災	8
台風・風水害	10
土砂災害	12
障害者・高齢者のために	13
自主防災組織	14
市の防災対策	18
避難場所一覧	20



災害の記録

かつてこの街が見舞われた、恐ろしい災害の数々。先人から得た教訓を忘れず、事前の安全対策を。

発生日月	名称など	主な被害
明治29年(1896)	玉幡村大災害(洪水)	安楽寺裏の堤が決壊。死者33人、流出家屋500戸。
明治41年(1908)	地震	マグニチュード5.8、震央は山梨県中部。震度5(甲府市の記録)
大正12年(1923) 9月1日	関東大震災	マグニチュード7.9、震央は相模灘。震度6。死者4名、負傷者9名、家屋全壊322棟・半壊427棟(甲府市の記録)
昭和19年(1944) 12月7日	東南海地震	マグニチュード7.9、震央は熊野灘。震度5。負傷者2人、家屋全壊26棟・半壊8棟(甲府市の記録)
昭和34年(1959) 8月14日	台風第7号	河川氾濫、田畑・道路に甚大な被害。死者2名、負傷者4名、家屋全壊86棟・半壊約155棟
昭和34年(1959) 9月26日	台風第15号(伊勢湾台風)	田畑に甚大な被害。死者2名、家屋全壊82棟・半壊350棟

